

# TMRセンターの役割分担と情報共有による運営体系の確立

(別海町西春別地域)

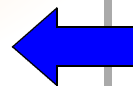
## 1 課題の背景 \*\*\*\*\*

○対象：(有)ウエストベース (TMRセンター1組織)

○(有)ウエストベース構成員16戸の出荷乳量は西春別地域の1/4以上を占めており、地域における重要な営農支援組織である。令和3年度に役員が一新され、新たな組織体制による運営が始まった。

**課題**：生産性向上に向けた良質サイレージの安定生産

- ①サイレージ調製方法の明確化
- ②ほ場利用・散布量の把握
- ③草地植生を考慮した草地更新



**取組内容**

組織の役割分担と情報共有による運営体系の確立に向けた提案

### 関係機関・団体の役割分担

J A道東あさひ：資金利用計画の作成・助言、構成員への経営改善指導

開業獣医師(THMS)：飼料設計支援

ホクレン：粗飼料分析、土壌分析、資材利用についての情報提供

日本政策金融公庫：資金利用計画の作成助言

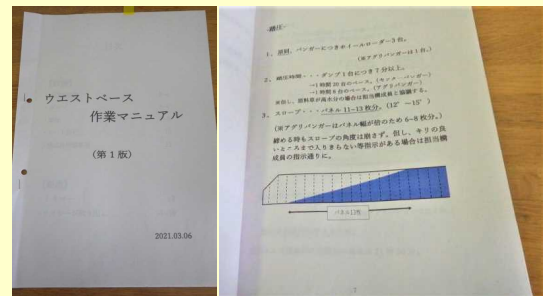
## 2 活動の経過 \*\*\*\*\*

### ○年間組織運営計画を作成



役員と作成した計画はセンターの事務所に掲示

### ○マニュアル作成



TMR製造とサイレージ調製マニュアルを役員と作成→収穫前に従業員と確認!

### ○ほ場利用計画策定に向けた検討



ほ場部担当者と糞尿散布量の確認、サイレージ用とうもろこしの作付計画を検討

### ○サイレージ調製支援



製造部、ほ場部担当者が合同で踏圧作業と切断長の確認

○サイレージ密度調査



R3年産はサイレージ密度が高いですよ！



定期的にバンカーサイロのサイレージ密度を計測、役員と結果を協議

○その他

- ・牧草生育状況を確認して収穫順番を検討
- ・サイレージ用とうもろこしの熟期調査
- ・牧草、サイレージ用とうもろこし収量調査
- ・植生確認、更新計画の検討
- ・広報誌を利用して情報共有

など

3 活動の成果 \*\*\*\*\*

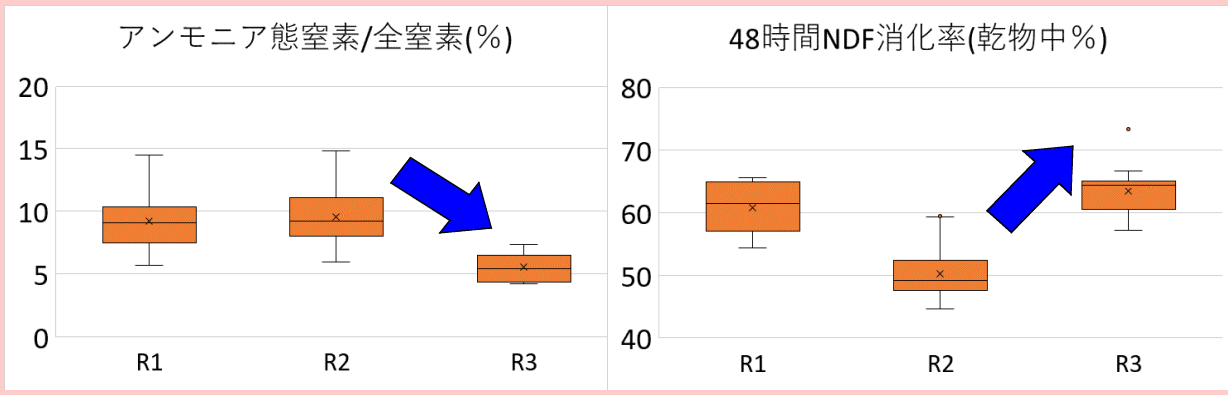
目標事項 組織運営計画の達成度 現況0%→目標100%→実績65%

おおむね計画に沿って適期に収穫できて、消化率の良いエサができた。サイレージの発酵品質もよくて、牛もたくさん食べるし、乳量も出ていて、構成員からの不満も減った！  
構成員の会議の出席率ももっと増えると良いんだけど・・・。

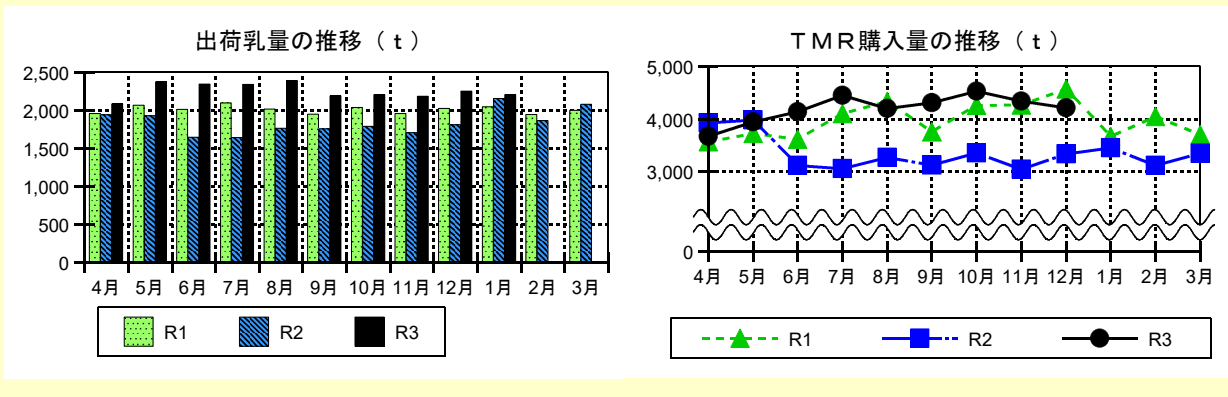


構成員A

◎R3年1番サイレージの品質が改善 (※粗飼料分析値より n数…R1:46、R2:52、R3:12)



◎構成員の乳量増大、TMR購入量の増加



4 今後の活動 \*\*\*\*\*

- ・構成員間の更なる情報共有の仕組み作り
- ・良質サイレージの安定生産技術の定着